

令和2年度 混合型特定施設入居者生活介護

ケアハウスあいの泉事業実施概要

1・運営方針

当施設は、混合型特定施設として運営しており、自立者及び要支援者・要介護者に対して、安全かつ安心した生活ができるようにサービスの提供に努めるとともに、職員の資質・専門性の向上を図るための会議・研修に努めた。

2・援助方針

職員は、介護支援専門員のたてる（介護予防）特定施設サービス計画に基づき、入居者が施設においてその有する能力に応じ、自立した日常生活が営む事ができるよう、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の援助、機能訓練及び療養上の援助を行った。

3・苦情申出窓口・運営懇談会の開催

苦情相談窓口を設置しており、サービスに関する入居者の相談・苦情に対し、適切に対応し苦情処理を行う体制を整備した。

運営懇談会は利用者だけで行い、コロナウイルスに対しての外出・面会・宿泊などの自粛・制限に対する協力と引き続き手洗いうがい・施設内外でのマスクの装着をお願いする。また、利用者・家族にコロナワクチンの実施の協力依頼をする。

4・個別援助計画

個別援助計画書の作成、見直しを行い、利用者に対してよりよい援助を提供できるよう努めた。リハビリの職員と協力し、施設職員でも出来るリハビリを行っていき、利用者が出来ることを維持、新たに出来ることが増えていくように努力した。今後も入居者のニーズ把握に尽力をするよう、職員同士での情報共有をしていく。

5・緊急時の対応

利用者の病状等の急変時には、速やかに主治医または協力機関に連絡し、対応した。また消防訓練、避難訓練を2回行い（内1回は夜間想定）、火災発生時に冷静かつ迅速に行動できるように訓練した。

コロナウイルス感染者が出た場合の対応をすぐに行えるように、指示系統の確立と備品の場所が分かるようにしてきたが、まだまだ不十分なところがあるので、今後も話し合い・練習を行っていく。

6・環境・衛生管理

前年度と引き続き、コロナウイルスによる対策の為、アルコール・次亜塩素酸ナトリウムでの消毒を徹底し、職員の入退社時の検温・手洗いうがい・休日に外出を控えるように指導した。今年度は、マスクが不足することはなかったがアルコールや感染予防の備品が業者から入荷が難しくなったこともあった。定期的に空気の入れ替えを行う。

また、市・県・厚生労働省などの行政からの補助金もあり、入口での検温機やオゾン発

生装置などを購入し機械面での感染予防も導入ができた。

コロナウイルスの予防で、外出の制限を行ったことで、買い物に出かけたい利用者が増えたため、毎週土曜日に移動スーパーとくしまを来てもらい、出来るだけそちら購入をしてもらう。当然、密にならないように利用者を誘導し買い物を行って貰っているがストレスの解消となり、利用者からは好評であった。引き続き来てもらう予定。

前年度同様、職員にコロナウイルスでの考えられる症状の勉強会を開催し、利用者様・自分自身・それぞれの家族等に症状がある人がいないかを把握・報告をするように徹底した。

7・地域との交流

前年度は、コロナウイルス感染予防の為、ボランティアの方々も含め、交流は少ないものとなった。今年度もいつからボランティアの方々の参加をお願いできるか、目途がたっていない状態である。コロナウイルスが落ち着き次第、地域の方々との交流に力を入れていきたい。

オレンジカフェも利用者だけの参加となる為、休止をさせてらう。施設内でレクリエーションを毎日2回行う。

開催月日	行事内容等	ボランティア名等	備考
毎月1回	転倒予防教室	西本哲也先生	
毎週1回	移動スーパー	移動スーパーとくし丸	

<行事等の実施状況>

月	日	行事内容等	ボランティア名等	備考
4	1	入社式	入社式	コロナのため 簡易版
4	3	選挙	不在者投票	
5		なし	なし	
6		なし	なし	
7		なし	なし	
8		なし	なし	
9		なし	なし	
10	14	バスツアー		牛窓
〃	22	バスツアー		渋川
11	12	消防設備点検		
〃	13	消防訓練		
12		なし	なし	
1	21	選挙	不在者投票	
2		なし	なし	
3		なし	なし	

令和2年度 地域密着型特別養護老人ホームあいの泉

事業実施概要

1、運営方針

入居者様、又利用者様に安全かつ安心して生活して頂けるように、本人様、ご家族様の意見を拝聴し、施設での生活にフィードバックできるように職員一同取り組みました。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、職員一同の感染症に対する理解・予防の徹底、また入居者様・利用者様の体調確認を行いました。

2、援助内容、援助方針

- ① 入居者様・利用者様の介護サービス計画に基づき、入浴、排泄、食事などの介護、相談・援助、社会生活上の便宜の供与、その他日常生活の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行いました。本人様の個々のニーズに沿った介護の提供に努めております。
- ② ユニットケアの特色として小さな変化でも共有し、支援に生かせるよう取り組んでいます。
- ③ 感染症拡大に伴い、面会制限も鑑みながら、その中で家族様や地域での関わりも大切に取り組んで参ります。具体的には定期的な利用者様の状況を家族様に電話等を用い伝達をしたり、地域の民生委員・地域包括支援センターの職員の方とのつながりを維持することに努めております。

3、苦情申し出窓口の設置

提供したサービスに関する入居者様・利用者様からの相談・苦情に対し、迅速かつ適切に対応を行っています。入居者様・ご利用者様及びそのご家族様からのご意見をいつでも賜れるよう、意見箱の設置をしています。また、普段からご家族様の面会時は、生活上の意向を隨時確認しながら、より安心した生活が送れるように支援をしています。

4、緊急時の対応

- ① 入居者様・利用者様の急変時には、医師又は病院関係者とも連携し、迅速な対応が出来るようにしています。その際必要な連絡体制、情報や物品等も日頃から確認しております。
- ② 消防訓練では慌てず的確な行動を取れるよう、手順や役割分担のマニュアル見直しを行いました。

5、環境・衛生管理

感染対策委員会を中心に、職員の感染症に対する知識向上を図り環境整備を行いました。新型コロナウイルス予防に関しては面会制限を実施しております。ご家族様においては連絡を密に取り合い、ご協力を賜っております。その他業者の方への検温、1Fでの荷物受け渡しを実施し、居住フロアには職員以外が入らないようにしています。

職員に対しては毎日2回の検温及びその記録、行動把握シートの記録をし、三密の場所に行かないよう再々教育を行なっております。

6、事故予防・防止

事故発生時には、即日職員間で、事故発生の原因や今後の対応策を検討し、同じ事故が生じさせないよう職員全員に対応策の徹底を行いました。各職種からの意見や利用者様のご様子にも目を向け、その対応が妥当であるかも継続して検討しました。事故防止検討委員会を定期的に行い、事故の検証・ヒヤリハットの分析、今後の対応に関して検討し、職員全員に徹底を行いました。

7、地域との交流

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今年度は運営推進会議の開催を取りやめております。

定期的に地域の民生委員や地域包括支援センターの方に連絡をとり、関係性を絶たないように努めております。

8、職員待遇の充実

職員自身のスキルアップにつながる研修には、積極的に参加して頂けるよう支援を行っています。各種勉強会や、介護技術に関する会議を通して、全職員が同じレベルでの介助や気づきを得る機会となるよう取り組んでおります。

今年度は、新しい職員として技能実習生の方もお迎えし、心新たに介護技術の指導に関しても皆で考えました。

行事等の実施状況

開催月日	行事内容等	実施者
毎週1回	訪問歯科	岡山大塚歯科医院
毎日	ティータイム	職員
毎月1回	お誕生日会	職員
毎月1回	季節行事	職員

行事等の内容

行事等	内容
訪問歯科	入居者・ご利用者様の歯科治療・口腔衛生ケアを行って頂いている。義歯の作成・調整も、ご家族様と相談し行っている。また、職員に対し、口腔ケアの指導を頂いている。
ティータイム	午前10時、午後3時にお茶の時間を設けている。午前10時は、お茶と、ご家族様が用意したおやつの提供、午後3時には、茶菓子等を提供し、入居者様・利用者様との交流また、職員との交流の場としている。
お誕生日会	毎月、当月にお誕生日をお迎えになられた方にお誕生日会を開催している。お誕生日を迎えた方の紹介・プレゼント（タオルケット）の贈呈を行っている。
季節行事	月ごとの行事活動を開催している。例えば、4月はお花見ドライブ、12月はクリスマス会など。入居者様に季節感を感じていただくきっかけとしている。飾りや衣装の着用は、ご利用者様にも参加していただいている。